



赤塚中だより

知を磨き・徳を温め・体を鍛え

平成25年 2月22日発行

水戸市立赤塚中学校
NO. 59

赤中学区小中学校(上中妻小・赤塚小・河和田小・赤塚中)では、こんなことを実践しています

【小中連携の取組の内容と成果】

取組の内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中合同夏季研修会(8/9 K'sスタジアム) <ul style="list-style-type: none"> ・「板書計画」に関する研修 赤塚中職員が模擬授業(英・教・社)を行い、生徒の視線で意見交換を実施。 ・生徒指導に関する情報交換 旧6学年担任と1学年職員との情報交換を行い、新たな支援手段を検討。 ○ 「校内授業研究会」「計画・要請訪問」等への相互参観 <ul style="list-style-type: none"> ・上中妻小学校計画訪問(10/2) ・河和田小学校要請訪問(11/14) ・赤塚中学校計画訪問(11/27) ○ 部活動を通しての交流(陸上部) <ul style="list-style-type: none"> ・陸上記録会前に赤塚小へ実技指導 ・小学生5名(河和田・上中妻)が土日の練習に参加 ○ 赤中学区スポーツフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> ・3校の6年生全員が赤塚中でスポーツ交流会を実施。保護者が豚汁を調理。 ○ 教職員間の交流・親睦を図る懇親会の開催(11/22) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を青枠で囲み、まとめを赤枠で囲むという共通理解がしっかりと図られた。また、小学校の先生からの意見は、1年生のノート指導に大いに参考になった。 ○ 反社・非社、或いは気になる生徒に関する情報交換をすることにより、新たな指導・支援方法を見出すことができた。 ○ 夏季研修会後に小学校の授業を参観することが、小学校経験のない若手教員には貴重な研修となり、授業改善の意欲付けとなっていた。 ○ 入学以前に中学生と一緒に部活動を行うことにより、中学校生活への期待を高めることに繋がっていると思われる。 ○ 今年初めての取り組みであったが、多くの方々のご協力で実現することができた。入学前にスポーツを通して交流することができたことは、中一ギャップ解消の一助となっていくものと期待される。 ○ より多くの教職員が親睦を図ることにより、今後の小中一貫教育がよりスムーズに進められていくものと期待される。

【小中連携の課題と解決策】

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学前後における生徒指導情報交換会の実施 ○ 小中一貫教育「まごころプラン」の作成と実践 ○ 校種を越えた出前授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小6の3学期に中学校から授業参観に出向き、情報交換を行う。3月下旬に中学校にて4校合同で情報交換・クラス編成を実施。5月中に小学校の先生方に授業参観していただき、情報交換を実施する。 ○ 小中連携推進委員会を定期的に開催し、連携を密にしていき、次年度のプランの作成については、年度末に検討委員会を開催する。 ○ 平成25年度実施に向けて、推進委員会が中心となって4校で協議・検討を進めていく。

第2回水戸千波湖ロードレース大会



2月3日(日)千羽湖畔においてロードレースがありました。中学生は、3000m1年女子の部と2・3年女子の部があり、陸上競技部の2人が上位入賞しました。

【中学女子2・3年の部 第3位】
記録 11分20秒
大澤 希歩(おおさわ きほ)

【中学女子1年の部 第4位】
記録 11分50秒
本田 美羽(ほんだ みう)

水戸市教育委員会褒賞(ほうしょう)授与式

2月20日(水)水戸市総合教育研究所3階視聴覚室において、水戸市内小中学生を対象に教育委員会から褒賞授与式がありました。本校からは、体操競技部(2年連続)と書道で表彰されました。

体操競技部

県総合体育大会	団体・個人	第1位
県新人体育大会	団体	第1位
関東大会	団体	第4位

J A 全国書道コンクール

銀賞 柏 仁美



塩	幡	睦	大
郡	司	伶	
茂	垣	海	聖
廣	木	健	聖
丸	山	佳	樹

